

御宿小学校校舎更新に係る経過説明会議事録

日時：令和4年11月22日（火）
午後7時から午後8時40分
場所：御宿町公民館大ホール

1. 開会

（事務局）本日は、お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。ただ今より、御宿小学校校舎更新に係る経過説明会を開催いたします。

（事務局）はじめに、石田町長よりごあいさつ申し上げます。

2. 町長あいさつ

（町長）本日皆様方におかれましてはお忙しい中、御宿小学校校舎更新に関わります経過説明会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。皆様方には日頃より教育行政をはじめといたしまして、行政全般にわたりご理解ご協力をいただいておりますことに、心より御礼を申し上げます。

さて、この度、本日の説明会につきまして中学生の保護者の皆様にもご案内をさせていただきましたが、新たな建設候補地の一つといたしまして中学校の敷地が挙がっておりますということ、そして人口減少が進んでおりますが、同時に児童生徒の数の減少も進んでおりますので、これからの教育方針として小中連携教育が重視されてきます。そのような観点から中学生のいらっしゃる皆様方にご案内をさせていただいた次第でございます。ご理解の程、お願いを申し上げます。

今後皆様方のご意見などをお聞かせいただければと思っておりますので、よろしく申し上げます。

さて、少し話を戻しますと、5月に皆様方にご案内を申し上げましたが、御宿小学校につきまして老朽化が進んでおります。そういう中でコロナ感染防止対策やエアコンの設置など環境整備を進めてきたところでございますが、コンクリート構造物としての指定築54年が経過いたしまして、校舎の耐用年数は60年と言われておりますので、建て替えの時期が来ております。耐用年限が令和9年3月となっておりますので、新たな候補地の決定、また教育方針を定めまして、事業を進めてまいりたいと考えております。

今後のおよそのスケジュールといたしまして設計に1年、工事期間として2年を要しますので、できれば皆様方のご理解をいただく中で、今年度中に候補地を決定して進めて行きたいと考えておるところでございます。これまでの経過につきましては、後ほど詳細な説明がございしますが、本年3月に町議会議員の皆さん保護者の皆さんでございますPTA役員の皆様、校長先生を含めまして、教育関係者の皆様

からなる教育施設検討委員会を立ち上げまして、4回の検討会議を経まして今に至っております。

はじめに執行部より建設候補地といたしまして、現在の御宿小学校が建っている敷地、そして御宿中学校が建っています敷地、さらにはB&G町営グラウンド等の附近の土地、そして布施小学校とこの4つの候補地をページをさせていただきました。そのような中で、4回の検討会議を経まして候補地を2か所に絞っていただいたわけでありまして、御宿中学校の敷地と布施小学校の現在の敷地でございます。協議を進めるにあたりまして、まず第一に自然災害、とりわけ津波災害を考慮いたしまして、第二に教育環境として静かな環境であること、第三に先ほど申し上げましたが、これからの教育方針として、小中連携教育が実現しやすい環境であること、そして四つ目に事業費となる財源について、財政事業などについて、この四つの点を考慮に入れまして、検討を進めていただいた次第でございます。その結果、御宿中学校と布施小学校が現在立地している箇所ということで、この2候補地に絞っていただいたわけでございます。

このような経過につきまして、これから説明をさせていただきます、そののちに保護者の皆さんを含めまして、1000名の皆様の町民の皆様にアンケート調査を行わせていただきたいと思いますと考えております。

このようなことをお願いいたしますので、よろしく願いいたします。結びになりますが、本日皆様方にはお忙しい中ご参加くださいましたことを心から御礼を申し上げますと、ともに皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げまして簡単ですが、挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございます。よろしく願いいたします。

(事務局) それでは、本日出席の職員の紹介をさせていただきます。

石田御宿町長です。

前森教育長です。

吉野教育課長です。

本日司会進行を務めさせていただきます。平松です。よろしく願いいたします。

(事務局) それでは、早速議題にはいらさせていただきます。

はじめに、議題1御宿町の今後の児童生徒数について、私よりご説明させていただきます。

3. 議題

議題1 御宿町の今後の御宿町の児童生徒数推移について

資料1により平松主査より説明

議題2 御宿小学校校舎更新に係る協議経過の説明について

4. 質疑応答

(事務局) ただ今、事務局よりご説明させていただきました。これより、質疑に入らせていただきます。ただ今、事務局よりご説明させていただきました内容につきまして、皆様からご質問等ございますでしょうか。

(保護者) さっき言ったアンケートっていうの内容はどんなものなのかなと思ったんです。でアンケートって、聞かれた内容に、対して答えるしかないというか、狭い中から選ばなきゃいけないようなことになるとすると、もったいないなあって思ったんですね。なので、ちょっと内容を知りたいなって思ったことと、これは説明会だから、こちらが聞く側なのだなとは思いますが、また別で希望として親からの意見とか、アイデアを吸い上げるような機会をぜひ持ってもらいたいなって思いました。それはどうしてかっていうと、例えば布施小もなんですけど、お父さん、お母さんたちがうちの子たちが通ってた学校なんだよっていうで、その孫も通ってるっていうことは、今私たちが決めて建てた学校が、もしかすると私の孫もいるかもしれないかなって思うと、年度中に、慌てて作ってしまうというよりは、こうやってみんなが夜でも集まってくれているんだから、思いがあるんだろうし、アイデアを吸い上げて、みんなの考えを合わせて、いい学校の内容を考えて、その内容を叶えられる立地を決めて、それで代々みんなが通えたら素敵だなって思うので、アンケートもいいんですけど、そういう意見を吸い上げる機会をお願いできたらと思いました。布施小学校の統合っていう時もまずはじめ、ちょっと一方的に言われちゃったなっていうのがあってから、親たちが、意見を吸い上げるっていうのを細やかにやったんです。それがコロナもあって、なかなか集まれなかったのもあって、半年から一年はかかっちゃったんですけど、ちゃんと布施小で卒業したいっていう高学年の思いとか、低学年はなるべく交流して早く合併がいいなとか、そんな思い全部をみんなが正直に出して、納得した結果決まったので、そういうふうにもみんなが幸せにできる未来を描けたらいいなって思ったので、そういう機会を持っていたらと思いました。素敵な学校ができれば、その学校に通いたいって移住者が増えるんじゃないかなって。教育移住っていうのが最近あるそうで、通知表もテストもない。実践型の学校っていうのが南アルプス市にあるんですけど、そこに行きたいって、小学校にそこに通いたいからって移住する人が増えているそうで、コロナもあってリモートで仕事もできるから。だから御宿も、もしかしてそうやって人が増えていくんじゃないかなって。その表にはない数字は増えていくかもしれないと思うので、素敵な学校ができればいいなって思います。以上です。

(事務局) ご意見ありがとうございました。アンケートの内容については、検討委員会の方でもですね、一旦了承されてアンケートをやるということになってます。内容

については、これからのこの小学校建築に向けて、どんな小学校になってもらいたいというものを上位5つ項目が書いてあるので、それを5つ選んでいただくものと、今やらなきゃいけない一番のところがですね、敷地の選定ということ、まず今年中にということで、今年中にもう建ててしまうって話ではないんですね。今年中に敷地を選びたいというところで、今やっておりますので、どちらの敷地を望みますか。というような質問があります。その他に、事務局の方でもご意見を聞く場所を作らないといけないだろうということで、自由意見を書けるようにしてございますので、この3点をアンケートしようとしているというところでございます。この後ですね、そのアンケートをもとに地域の皆さんにもやはりご説明をしていくということでですね。結果を持って、また区長会の方にご相談したり、施設検討委員会の方でどういうふうに進めていくかということ、投げかけたり、親御さんの方にもその結果を出して、またご意見を聞かなきゃいけない部分も当然あると思いますのでそういう場を設けていただきたいということは、意見としていただいておりますので、この場でいつやりますよっていう話はなかなかできないので、一旦そのご意見をいただいておりますよっていいでしょうか。

(保護者) そもそもこの2つの候補地にも絞ってしまったっていうところにちょっと問題があるかなとは思いますが、先ほど津波災害とかを考えてとおっしゃっていたので、どうして御宿台が入ってないのかもちょっと疑問です。津波のことを考えるんだしたら一番は御宿台かなと思うんです。今までの説明だと、どうして布施小と御中に決まったのがちょっと全然わからない。御宿小が老朽化しているのに、どうして御宿小の建て替えを考えないのか、その場所で、どうして布施小に持っていかなきゃいけないのか、どうして中学校に持っていかなきゃいけないのか。中学校に持っていって、中学校の建て替えの時にその話が出て来たはずですよ。小中一貫っていうことが。その時にどうして、小学校も一緒になるようになって建物を作らなかったのか、もう老朽化が分かっていたはずだと思います。建て替えの時には、布施小に行ったとしてスクールバスですかね多分。個人送り迎えてことはできないと思いますので、その時のランニングコスト、スクールバスが年間いくらかかって、それがずっと続くっていうことになる、ちょっと費用がかかるんじゃないか？それだったら御宿小学校を老朽化ということなんですとずっと立てておくってわけにはいかないと思うんで、更地にしますよね。そしたらそこに建てた方が費用がかからないんじゃないかなとは思いますが。

あとその中学校にした時は、小学生と中学生が一緒についていうことですよ。体育館一つじゃ絶対足りないと思いますし、小学生って遊具が必要です。それを校庭に作るとなると、中学校の部活、小学校の部活、体育とか全然敷地が足りないんじゃないかなと思うんで、それだと駐車場の問題とかも出てくると思うので、なんかそういうことを全部見据えた中での説明会にしてほしかったなと思います。それで全部聞いて納得した上で、この二つから選んでくださいっていうことであれば、その二つ

から選べるんですけど。なんかその中身の経過が全然わからないので、どうしてこの2つの候補地に絞ってしまったのかをちょっと詳しく聞きたいと思います。

(事務局) 今の2か所に選定された理由というのは、御宿小学校今現在建っているところが、浸水区域ということなんですね。御宿町で一番被害が、大きかった元禄地震の時の想定で、そういう津波が来た場合に、浸水をしてしまう区域に入っているということで、保護者の皆様からの学校評価アンケートを行っている中で、高台ということが皆様のご要望が強かったところです。御宿小学校を高い建物にしたらどうかという話もあるかとおもいますが、孤立してしまったときにすごく大変だったということ、経験した方の声を聞くと一昼夜屋上にいるということはなかなか大変なところもあるということも含めて、高い建物を建てればということも一旦なしにしたところです。御宿小学校は建て替えということが検討の中ではあったところです。御宿台については、御宿台ができた時に小学校用地をいただいています。現在、こども園が建ってその下に一段低い位置にあるのが小学校用地としていただいたものです。そこにこども園を上段に建てたので、小学校用地としては狭くなってしまったということです。御宿台というものもそういったところで、小学校用地には建てられないという結論を出したところです。新たに土地を購入するというところも考えたのですが、全部造成して作るということのも難しいだろうということで御宿台は一旦外れているということです。またB&Gについても今現在の野球場とか旧テニス場あたりを再開発するということになる、やはり全部施設を作り直すとか、線路に近いとか、そういう部分もあって、そういう設定の中での委員さんたちがその場所を選ばれなかったということです。布施小学校と御宿中学校が選ばれていることは、現在の御宿小学校より高台であるということと、中学校については、浅間山があるので、そのさらに高台に逃げることができるということで、御宿中学校が選ばれている。布施小学校については、場所的に高いところにあるということで選ばれている。4か所についてなぜ最初にでてきたのかということ、これは町有地を中心に選定していますので、その他の土地を購入するというよりも、町有地を第一優先で考えてその中から、皆さんに選定していただいていた決まったところです。

御宿中学校が狭いのではないかという話があったかと思いますが。御宿中学校については、先ほど説明しました児童生徒の数がだんだん減ってくるという部分がありまして、今中学校の建物の中でも共同で使うことができる部分があります。必要最低限のものを建てて、共同で使う部分は使う。体育館などはどうするんだという話がありましたが、B&Gも今後改修を考えていますので、そこを共同でやり取りをしながら進めることができると考えておりますので、どうしてもかち合うようであれば、中学校の体育館とB&Gの体育館を共同利用しながら使うということになるかと思えます。

遊具について、グラウンドではなくて、中庭とその他いさみやさん側のほうに空き地があります。遊具については、校長先生たちからできるだけ多めに配置してほしいという要望もありましたので、不自由をさせないように考えています。児童館もだいぶ

老朽化していますので、中学校の中に学童も同じ場所で配置するように考えています。

中学校建設するときはどうして一緒にやらなかったのかというご質問ですが、私が答えることができないんですけれども。

(町長) 中学校の建設の時に、小中一貫あるいは小中連携のことをどうして考えられなかったのかというご質問ですが、中学校建設の際は、平成17年であったと思いますが、そういった話は少し、聞いておりましたがなかなか実現までにはいかなかったというところですか。今から17、8年前になりますか、これから現在の施設を有効に活用するとともに、何か所か小中連携の実施をしている学校を視察を行いましたけど、人口減少が進んで子どもたちが少なくなっていますので、できるだけ共同で使用できる施設は教室でも施設でも活用して、不足が想定される部分について建設していくという観点がどこの学校でも出ておりますので、それが一つの参考になるのかなと思っております。

先ほどのご質問にもございましたけども、現時点で2つの候補が挙がっておりますが、決定ではございませんから、大きな方針ということでございますが、例えば今いろいろと細かい説明がこれまでの意見交換の中で出ているのですが、いろいろな意見を吸い上げてと同時にその一つのことについて深く考えて、今挙がっている候補よりも素晴らしいとか、先ほど選定基準に4つ挙げましたけれども、環境にいい、津波災害に対する安全であるところ、財政の面についてなど4つの視点と照らし合わせてですね、もっといいお考えがもしでてきたら、当然皆さんに共有して検討していくという考えではあります。そうした中で、一つの経過の中でこれまでの検討委員会の内容をご報告させていただいて皆さんにいろいろなご意見をいただけたらなど考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

(保護者) 町長が言われた、候補地がもっといい場所があるならばとのことでしたが、アンケートが示されてない中で、2か所のどちらがいいかの問いになっていないのかどうか。耐震の問題から更新時期令和9年から逆算で、11月25日からアンケートを開始して、12月のあたりに締切って、集計してこのようであったという、位置設定のこり3回説明会をやるわけですが、一生懸命意見が出ている話を、問題は、どう反映させるのかということです。アンケートは25日に発送するよという話をしましたが、それをまとめてあげないとせっかく来てお話しいただいているのに、どうするんだという話になってしまう。

(町長) 今アンケートのことにつきまして、事務局から説明しましたけれども、検討委員会です承されたということでございます。現時点では出してみたいと思いますが、また、同時にアンケート自体にもその他の意見も書き入れていただける欄がございますので、やり方等があればまた、検討委員会にて検討するという考えは持ってお

ります。先ほども申し上げましたけれども、時間の経過の中で、検討委員会でも区長様方にもいろいろなご意見をいただいておりますけれども、一つ一つ進めていきたいと思っております。急ぐわけではございませんが、およその工程がございますので、できるだけきちんといろんなご意見を出していただいて、それをどのように対応していくかまた検討委員会の中でも協議していきたいなと思っておりますので、アンケートの中に書き入れていただければと考えております。

(区長) アンケートの内容について答える話はわかりました。今話してくれている意見を私はどのように反映されるのですかという話だけです。検討委員会で組織の中の会議でいろいろと検討された結果についてを皆様に話していることはわかるんですが、今のここでいってくれた話しをどうするのですかということをおきます。

(事務局) ここでも町長が検討していきますよということですので、その自由意見に記載いただいて、今後検討の材料にさせていただきますというところでございます。

(保護者) 区長さんが言ったのは、ここで質疑応答している内容を一緒にアンケートと出したほうがいいんじゃないかということじゃないんでしょうか。ここに来れない方もいらっしゃるの、何もなままアンケートしても、何を質問してもわからないと思うんです。

0歳か15歳までと小さい子がいる保護者の方々は来れないと思うんです。なので、今質疑応答している内容をすべて文章にしてこういう質問が出ました、さらに何かありますかって出すんだったらいいと思いますが、25日に出すのは早いかなと思います。この質疑応答の内容を一緒に送ったほうがいいと思います。

(事務局) 町長がお話しした通り、アンケートについては検討委員会の中で審議されておりまして、まったくそれで決めてしまうというわけではないので、それを材料に地域に出たり保護者の皆さんの意見を聞きながらということも町長も話しておりますので、今回でないものも検討の材料にさせていただくんですけれども、自由意見の中にも書き込んでいただけたらと思いますので、そこに書き込んでいただくというのが今後それを取り上げていくということになりますので、みなさんの意見をすべて盛り込んでやるという考えが今のところないというところなんです。

欠席された方については、今日の説明会の資料等については後日お配りすることを考えておりますが、説明会は、現在までの経過を説明するというご説明しておりますので、ここまでの検討をしてきたものについては、欠席された方にもお渡ししてアンケートをしていただくような形になりますが、この中で質問があったり意見があったりしたものについては、アンケートの自由意見と同じような意味合いと

して今後の検討材料としていこうと思っておりますので、アンケート自体はこのまま進める予定でございます。

(区長) 実際には、説明会は26日まで、アンケートの発送は25日ということで、アンケートについて質疑が出た時にもう発送していると説明するのですか。日程を変えるべきではないですか。

(事務局) アンケートは、抽出の方は25日に発送予定ですが、保護者の皆さまは説明会が終わった28日からの週でお渡ししようと考えておりますので、説明会に来ていただいているのは、保護者の皆様と区長の皆様になりますので、アンケートはその後に発送するということになります。

(保護者) アンケート内容が気になっています。新しい学校はどういったものかいいかをリサーチするものなのか、それとも2つ候補が上がっているどっちがいいというものになっているのか。後者であれば、0歳から15歳までの方にアンケートされるということなので、候補地についてどういった場所なのかわからないと思いますので、そういったことを踏まえてアンケートと一緒に資料を送るのか、どういう内容になっているのかというのが気になりました。

(事務局) アンケートの内容ですが、まずは、年代、性別、地区をお伺いいたします。次に、御宿小学校を更新する上で最も重要と思う上位5つを選択していただきます。高台への建設、スクールバスの運行、ICTの活用、遊具の充実、小中連携(一貫)教育の推進、学童併設による充実、地域との連携、学校施設の一般開放(図書室など)、ユニバーサルデザインに配慮、バリアフリーに配慮、避難所として活用、グラウンド(校庭)の広さ、自宅と学校との距離、財政規模に合わせた施設建設、木造建築、自然環境、特色ある授業の実施、過去の歴史・文化の継承(五倫鬘、旧小学校・高校の歴史)、特別支援教育の充実、防犯設備の充実、ムダのない施設の活用などの項目となっています。

また、次に布施小学校と御宿中学校の候補地2か所のうちどちらが良いと思えますかということで、それぞれのいいところを記載したうえで選択していただくようになっています。

布施小学校の敷地の良い所

- ・高台
- ・自然環境の充実
- ・現在の体育館、プールを使用
できる

御宿中学校の敷地の良い所

- ・高台(避難時の浅間山も含む)
- ・小中学校の教育連携
- ・教育費の集中投入

などです。そして、最後に自由意見を記載できるようになっています。

先ほど敷地の状況を説明するものをとというご意見ございましたが、現在のところはそういったものをつける予定はしていません。

(保護者) 昨年東京から移住してきました。御宿の海の近い環境が魅力で移住してまいりました。先ほども、布施小か御宿中どちらか2択になっているというお話で、御宿中であれば同じ敷地の中に学童ができるですとか、空いているところには遊具を充実させるとかというお話を聞いたのですが、もし布施小になった場合の小学生の登校の仕方ですとか、学童がどうなっているのかとか町の方はどのように進めていけば、児童の安全や親の心配なく仕事が続けていけるのかというのが具体的に知りたいです。今説明を受けている状況ですと、御宿中で進めて行こうという姿勢が見えていて、私たちに選択肢はないのかなと思いました。両方どちらかに決まってもどちらでも子供が安心して小学校生活を送れる、親も安心して通わせる。だから、どちらかだったら両方を示してほしいです。よろしくお願いします。

(事務局) すみません。言葉が足りなかったというご指摘だと思います。まず、敷地の選定をしようとしていると先ほどお話ししたと思います。敷地の選定後に意見の中からもいろんな要望があると思います。お子様が安全にどうやって行くのかというお話だとか、学童の話だとか、承知しているのですが、敷地の選定をした段階で集中してそこにどうしていこうかという話をしていきたいというところで、敷地の選定をしているところです。当然スクールバス等も考えてはいるんですけども、それをご披露しても、敷地が決まらないのにといいところがあると思います。ただ、範囲がどこまでなのかというところについては、全然決まっておきませんので、なかなかここで披露することができないところなんです。スクールバスが必要とは考えていますが、経路までは後にお示しできると思いますけれども、町においては、スクールバスはどちらにおいても運行する予定でいます。その範囲については、布施に決まった場合には全町を回らなければいけないんじゃないかという部分はありますけれども、先ほどもありました通り、コスト面とかも考えての部分が、検討の中ではありましたので、考えていることは学童の話も当然考えているし、スクールバスのことも考えているということとどめておきたいところです。ただ、それが具体的にどういふふうに行うのってという話には、まだお答えができないというところですので、段階を踏んでいくうちにそういう部分もお示しすることが最終的にはできると思いますけれども、そこまで示さないという選択ができないよってという話とちょっと違うんじゃないかなというところで、今の進め方で進めているところです。布施と御中でうちの方の説明が御中よりじゃないかという話もありましたけど、その辺はフラットな形で、どちらかに決めていくということになりますので、保護者の皆様のご意見をお聞きしますけれども、最終的に決定するのは町の方でここってところが決定の最終決断のところっていうのはあります。ただ、その過程の中で、どんなことをどれだけ保護者の皆さんたちの意見を組んでいけるかっていうところに、今、うちの方としては説明会をこれからも開くことを考えてますし、全部このアンケートで決めてしまおうという話ではないので、段階を踏んで最終的にいいものが出

来ればいいというところで、取り組んでいますので、その中で決めていければなというところですので、すべてなかなか今の段階で、お示しができないのが申し訳ないんですけども、そういう形で段階を踏んでやっていっている状況を今日ご説明したというところになりますので、よろしくをお願いします。

(町長) はい、私の方から申し上げます。さまざまなご意見いただいておりますが、事務局のお答えよりも私は緩やかに考えております。後で内部は調整いたしますけど、今皆さんからご意見いただいている中でアンケートの内容が判断する内容であれば、それにともなった可能な範囲のさまざまな指標といいますか、そのようなものは添付してもらいたいというようなご意見がございました。もう1点はアンケートを出す時期については、ちょっと事務局と考えて、少し時間をいただいて余裕をもって、この後4回の説明会がございましたので、そういう中でまた色々なご意見をあると思いますので、このようにお集まりいただいてご意見を伺うというのは、そういう目的でございますから、そういうご意見をいただきながら修正できる部分は修正していくと。現時点で今日のお話の中でやはりアンケートの中で、判断できるだけの可能な範囲の資料を添付願えないかというご意見ございましたので、そういったことの検討をしてアンケートをお出しする時期について少し時間を、考え方としては4回の説明会を終えた後に少しお時間をいただいた中で検討し、出させていただくというような、私は流れを少し緩やかに考えておりますので、そのようにご理解いただきたいなと思います。

(保護者) みんなと違うお話になるかと思うんですけども、校舎ができるのは令和9年度っていうことでいいんでしょうか。

(事務局) 令和8年度です。

(保護者) 8年度に完成っていうことですね。この資料を見ると令和10年度に中学生が92名ということで、今は99名ですね。あまり変わらないでプラス小学生まで中学校で見ると合計が125人。御宿中学校になってしまったらこの人数が全員敷地内に入るわけですね。そう考えると、ちょっと早いんじゃないかと。人数が多くなってしまうので、校舎の問題はちょっと早いんじゃないかと。10年刻みで考えるみたいなのところがあって、例えば布施小学校であれば建設費とかあんまりかからないと思うので。例えば10年はそこでやってみる。10年後に、すごく減るかもしれないし、10年後わからないので、中学校に移動いうことは考えられないのかなと。建設費の問題と人数の問題。中学校もそんなに広いようで広くないんじゃないかという意見になるんですけど、いかがですか。

(事務局) 布施小学校の校舎はそのまま使うつもりはないです。大きさの基準ってい

うのが決められてまして、今の大きさだと一旦皆さん入ってもらって、年数を経過するのを待つというご意見だったかと思えますけど、それはまずできないということです。なので、布施小学校に決まった場合は新しい物を建てることになります。中学校についてもですね、人数変わらないんじゃないかという部分がございますけれども、現在建てたときよりもですね。中学校の人数というのは、少なくなってきていますので、それで空いている教室っていうのを有効活用しながら、必要なものの校舎を増設して、共同で使う部屋は共同で使うような形で考えておりますので、人数があまり変わらないんじゃないかっていうのは、今現在とその時の現在の人数が違うだけで、建てた時の人数からずいぶん減っているんですよ。有効に使える教室があると言う部分としては、中学校の敷地に建てても、充分使える、広さ的にも充分取れるというようなことで、御宿中学校が候補地になっていると言うところでございます。

(保護者) 小学校は1階建てだったら構わないと思うんですけど、階段の高さが違う。小学校と、中学校は一緒にいいんですか。そういう問題もありますよね。

(事務局) 今の御宿中学校がですね。小学生の高さの階段になってますので、今の中学校の校舎で小学生が使っても問題はないというのも確認はしております。

(事務局) 他にご質問とかございませんでしょうか。

(保護者) 私、布施小の統廃合の頃から、今回この小学校更新っていうことで両方とも参加させていただいているんですけど、布施小学校の統廃合についても、今回のこの説明会の質問に関しても、保護者の思っている事って同じなんですよね。なんか聞いてるとそのスクールバスとか、こっち行ったらどうとかっていうのは、布施小の統廃合の時も同じ意見が出て、その回答がなかなか出てこなかった今でもまあどうなってるんだろうっていうところあるんですけど、やっぱり保護者が不安に思っていることって同じだと思うので、そう。今回のこれに関しても、きっとこういう意見が出るだろうっていうのを、そちらの方でもちょっと把握してもらって、いろんな資料をやっぱりこれに添付してもらおうとか、そういう配慮をしていただきたいなあっていうのが一点と今回こういう意見が出たのを、この検討委員会にまた持ち帰ってっていう話だったんですけど、その統廃合の時もそうだったんですけど、私たち保護者に全員に戻ってくるってないんですよ。こういう意見が出てたとかって。で、今回のこれも検討委員会の方でまた検討しますとかじゃなくて、全部の日程出られるわけではないので、こういう意見が出ましたっていうのをやっぱり示していただきたい。アンケートに間に合わないかもしれないけど、こういう意見がありましたっていうのは、必ず保護者全員に示していただきたいなあって、今回思いました。御宿の人たちがもし布施小のところにまた新校舎くるって言ったら布施小が御宿小に行く時の不安と同じことが起きてると思うので、それってもう皆さんには伝わって

と思うので、そこら辺をもう一度検討していただいて、みんなが子供たちが本当に安全に過ごせるようにやっていただきたいなあっていうふうに思いまして、御宿中学校に上の子が通い始めたんですけど、やっぱり国道沿いっていうことで交通のこととか、あと送り迎えとかでもかなり雨の日とか混んだりしてて危険だなんて思うこと、自分も迎えに行ってしまうことがあるので、その辺やっぱり安全面を考慮してってなった時に、じゃあ御中で小中一貫になってしまって、そこは安全なのかとかっていう不安も出てくると思うので、そこは私もアンケートに書かせてもらおうかなと思いますけど、そういう面も検討委員会なり、またこういう集まりで、意見が出た時にちょっと集約していただいて、今後やっていただきたいなと思います。

(事務局) アンケートの結果についてはですね、必ず皆さんにもご報告するようにいたします。布施小の統廃合の関係もずっとやっておりますけれども、御宿側についてはそこまで何か決まっていってないよっていうような形ではなくて、スクールバスについてもやりますよっていう話をずっとしてきておりますので。皆さんが困ることは、今回のアンケートの中にもですね。スクールバスのことや、先ほど遊具のこととかもありましたし、たぶんこういうことが重要性を持っているんじゃないかというものを、できるだけ拾い上げるのをしているんです。その中で、みなさんが、例えばスクールバスが一番重要だよってことであれば当然、番号がつくでしょうし、違うものは使わないってことのアンケートになっておりますので、その辺ご心配になっている部分っていうのを調査するためのものだと思ってやっていただくってところだと思いますので、この中で意見が出たものが全然組み取られてないよっていう話になっちゃうと、私が言っていることがおかしくなりますけれども、できるだけその意見を汲み上げた形でやっていければというところなんです。先ほどからはっきりしたことが言えない部分というのは当然あるんですけども、できるだけこう段階を踏みながら皆さんのご意見を聞きながら進めていければというところでやっておりますので、その辺はご理解いただきたいと思います。

(事務局) 他にご質問ございませんでしょうか。

(保護者) 先ほどからまずは敷地を決めないよってというお話を何度かされてますけど、まず敷地ってなった時に親は通えるかどうかを重要視するのは絶対だと思うんですね、今回の今日の説明会の中で、えっと津波対策、自然環境、小中一貫ですか、そういう話はありませんけれども、通いやすさとか、どうして布施小学校と御宿中学校が候補に残っているのか、通えるかどうかの問題が重要だと思っていて、自然とか津波とか布施小だったらこういうふうに登校するのを想定しています、だから自然が整っている高台が候補にあがってますよって、御宿中はこういうふうに子どもたちを通わせるのを想定しているの、町の方がおっしゃっている災害にも対策できている、自然がたくさんある小中一貫ができる、だから候補にあがってますよっていう

説明が欲しかったんです。それがなくて、とりあえず敷地を決めたいっていうのはちょっとないのかなって思いました。あと何回何日間か説明会残っていると思いますけど、候補が2つ上がっている理由を、もうちょっと詳しく説明した方が良いかなと思いました。自然災害の対策ができていて、自然がいっぱいあって、小中一貫だ、ではどっちの候補も選べないかなと思います。以上です。

(町長) 冒頭申し上げました4カ所につきましてね。みんなのメリットデメリットはありますが、そういう内容とか、あるいはどちらに決まっても、子供たちが安全に通うことができる。そして、安心安全な教育環境整備環境の中で、勉強することができるというのは基本っていうか、これはもう絶対にやらなくちゃいけないことですから、どちらに決まっても安心安全で通うことができる、勉強することができるというのは、一番やらなければいけないことですから、これはお約束いたします。

(事務局) 貴重なご意見ありがとうございます。理由についてはですね。もうちょっと詳しく説明できるようにしていこうと思いますので、よろしく願いいたします。

(事務局) 他にございますでしょうか。

(保護者) 今の話を全部踏まえて最後をお願いなんですけど。アンケートの一番最後の二択じゃなくて、検討委員会で二つに絞られてますけど他にもあったら書いてくださいみたいな一文があってもいいのかなと思います。4か所候補もありましたっていう中で、どっちかっていったらどっちですかというか、他に意見があれば書いてくださいっていうようなことも書いていただけるといいかなと思います。

(町長) 色々ご意見ありがとうございます。十分に検討させていただきたい。先ほど申し上げましたように、4回のこういった説明会で出ましたご意見をいただいたの中身をよく検討させていただいて、できるだけ表現として保護者の皆様にご理解いただける、わかりやすいような形でアンケートの作成についてやっていきたいと考えておりますので、よろしく願いします。

(事務局) 他によろしいでしょうか。

(保護者) さっきアンケートに自由記述欄をやるので、出してもらって吸い上げるっていうことを言っていたんですけど、それだと役場に意見は届くけれども、こういう親同士でどんな意見が出たのかなっていうのを親同士が知ることで、より良い考えが生まれるなって今討論というか、意見聞いてて思ったので、できたらそういう場というか、これは説明会なので、今度は町の皆さんと親がこう vs みたいな感じではなくて、平たく意見の交流会というかそういう場がもしできたらいいんじゃないかな

いかなって。そのアンケートはもう決まっていますとか、一方的なコミュニケーションじゃない感じ。まあ説明会なので説明を受けるっていう側の機会だと思うんです。でもやっぱり一緒に御宿が大好きで住んでいる。みんなこれからを考える意見を出し合う意見交流会みたいなことをやってもらえたら、すごくコミュニケーションも取れていいなって思いました。そういう機会を希望します。以上です。

(事務局) ありがとうございます。意見交換会っていうお話ございました。今進めている中で、この意見を交換するという考えっていうのが小学校建設の中では今まで考えて来てなかったんですね。このご意見は一旦持ち帰らせていただいて、こういうご要望がありましたよっていうものを、当然、先ほどの自由意見のものと一緒にですね。意見がこう出されましたということは踏まえてですね。今後進めていければと思いますので、今は、持ち帰らせていただくような形でお答えしております。

(町長) 一言申し上げますけど、基本的にですね。より多くのおひとりおひとり町民の皆様のご意見を伺って、この事業を進めていくことが非常に重要であると考えておりますので、これまでも先ほどの報告の中にもございましたけど、区長会の皆様方にもご協力をいただいておりますので、また一つのこの意見交換会といいますか皆様方とのお話し合いでですね、一つの形として、例えば各行政区ごとにね、皆さんがそういうご希望があれば、私どもが出向いて行って、また意見交換会のような形で色々お話をする場合も考えられますので、大切な事業でありますので、皆様方のより多くのご意見を伺いながら進めていきたいと考えておりますので、よろしく願います。

(事務局) それではよろしいでしょうか。

(検討委員会委員) 検討委員会の一人として議会の方から参画させていただいております。立场上今日は傍聴で黙って、皆様のご意見伺おうかなと思ってたんですが、こういう流れになったので、検討委員会のメンバーも今日は、全員は来てないんですが、何名か来てますけれども、同じ気持ちの検討委員のメンバーもいたんだということ。いろんな懸念点が挙がったと思います。これは検討委員会の中でも、ほとんど同じ内容が懸念点として挙がって、いくつかについては、今日お話があったような回答をいただけてますけれども、結局最終的にはですね。細かいところを決めるよりも、前にまず候補地をとお話があったとおりの方針ということで、なかなかそこが折り合いがつかないまま、アンケート実施ということになっています。アンケートの内容についても同じですね。今までこうやった懸念点が上がっていて、それに対しての答えが出た上でそれが全て記載された状態でアンケートがなされれば、こういう懸念があるけど、こういう改善、解決策があるんだねというのがあって、その前提で2択っていうなら、まだ選びようがあるのかもしれないけれども、懸念点がたくさんある

のに、それなのに対する答えがないまま選んでくださいっていうのはやっぱり非常に難しいんじゃないかと。でも2択という形をとってしまった以上、結果の影響力挺でいうのは、いくら自由記述欄を作ったとしてもやっぱりすごく強い力を持ってしまふんじゃないかという懸念の声も検討委員会では挙がっていました。なので、同じようにこういった懸念、意見が出て、あるいは疑問の声が上がって、それに対する答えみたいなのもつけた形でアンケートを実施したらどうかという意見も検討委員会でも出ました。ただアンケートはシンプルな方がいいんじゃないかという声もやはり検討委員会の中でも出て、最終的にはそちらが通ってしまったというような経緯がございます。なので、今回町長がですね、少しまた柔軟にですね、検討し直していただけるというお言葉もいただきましたので、ありがたいなと思っております。あと弁護する訳ではないのですが、やはり期日というか耐用年数を含めて、事務局の方々は期日に間に合わせるためにどうしたら決められたスケジュールどおりで進められるのかというのを一番一生懸命仕事をされているのかなというふうには映っていましたので、その辺は町長の方で今日の皆さんの声も拝聴した中で、少しゆとりを持っていただけるというご答弁をいただきましたので、改めていい形で今後進めていただければと思います。よろしく願いいたします。以上です。

(事務局) 今、検討委員会委員さんからお話しいただいたのは、町長の方も少しゆるやかということで承知していると思いますので、一旦お答えはよろしいですか。

(検討委員会委員) よろしく願いいたします。

(事務局) それでは、他にないようでしたら、皆様からたくさんの貴重なご意見をいただきましたので、持ち帰らせていただき検討させていただきます。今後の説明会につなげていきたいと思っております。

それでは、以上持ちまして、御宿小学校校舎更新に係る経過説明会を終了いたします。本日は、お忙しい中ありがとうございました。